

轍わだち

2021.7.12 NO. 135

長引く梅雨前線。水害と土砂災害に気をつけて！

7月3日、活発な梅雨前線の動きによって静岡県・熱海市で大規模な土砂災害が起きた。山腹の伊豆山神社付近で土石流が発生し、あいぞめ逢初川に沿って周辺の家屋をのみ込んだ。過去の地形データと比較してみると、山の谷間を造成する際に盛り土をして開発されており、その箇所が崩れたことで土砂の勢いが燃したと静岡県の調査からわかった。また盛り土の高さや範囲も法令基準よりも多かったことが判明し、土地の開発目的や法規制、検査報告などの問題が指摘された。

熱海市水道温泉課によると、逢初川の流域まで7日午前時点まで約1100軒が断水している。6ヶ所の給水所に設けた簡易水槽や給水タンクへ飲料水を補給している。土石流の影響で、これらの地区に供給するための水をためていた配水池は土石流の起点のすぐそばにあり土砂にのみ込まれた。その先の水道管も壊れた可能性が高いという。



難航する救助作業の様子（朝日新聞7月7日）

公民館に設けられた給水所で水を汲む住民（朝日新聞7月7日）



熱海でも
鳥取・島根も

大雨で一部浸水した住宅街・松江市

(朝日新聞7月7日)



梅雨前線の活動が活発化している影響で7日、島根県と鳥取県を中心に「線状降水帯」による1時間雨量80ミリ以上の猛烈な雨が降った。避難情報で最も高い警戒レベル5の「緊急安全確保」や避難指示が相次いで出された。島根県では約30万人、鳥取県では約3400人に避難指示が出され、日本海側ではなくとも翌日8日までは「滝のように降る」とされる1時間50ミリ以上の雨が続く様子。気象庁の予測官は「いつ、どのタイミングで、どの程度降るかを正確に予想はできない」「明るい日中のうちに防災や避難に関する確認、準備をして夜間に慌てて行動することのないようお願いしたい」と語った。



新しい警戒レベルの一覧表

情報の名称	主に求められる行動
警戒レベル5 「緊急安全確保」 (災害発生情報)	自宅の上層階や近隣の頑丈な建物への移動
警戒レベル4までに必ず避難!	
警戒レベル4 「避難指示」 (避難勧告は廃止)	避難所など安全な場所への避難
警戒レベル3 「高齢者等避難」 (避難準備・高齢者等避難開始)	高齢者は避難開始。災害リスクの高い地域の住民は避難
警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報	自らの避難行動を確認
警戒レベル1 早期注意情報	災害への心構えを高める

カッコ内は変更前の名称。内閣府の作業部会の報告書から

西日本豪雨から3年経って（倉敷市真備町）

東海地方から九州地方までの広域（14府県）で300人以上が犠牲になった西日本豪雨から7月6日で3年となった。岡山県や広島県の被災した地域では犠牲者をしのぶ追悼式が行なわれた。2018年は大阪北部地震と西日本豪雨の被害を見て、被災地を応援するため実行委員たちが募金や物資を集めて送った。そのうち真備町岡田地区にタオルや食品などを応援の手紙と共に送った。（轍No.109）また、実行委員だった卒業生が本校のチャプレンと共に食事ボランティアや泥かきの手伝いをした。（轍No.103）

毎年、全国各地でおきる自然災害に対して、いのちを守ることを最優先に考えなければならない。そのためには今まで起きた災害の記憶を忘れないよう伝える、そして傷ついた人たちを助けることを続けていきたい。

倉敷・真備では

真備町で行なわれた万灯会（朝日新聞7月7日）

遺族代表の松村好美さん 「経験したことのない大雨が母の命を突然に奪っていました。3年たっても心の傷が癒えることはありません」「つらい経験を教訓として、災害から命を守るために備えの大切さを語り継いでいきたい」と述べている。



広島・安芸では

広島市立矢野幼稚園園長 岡田幸子さん 園には当時1メートル超の高さの土砂が流れ込み、園舎の1階が完全に埋もれた。夜だったため園児に被害はなかったが、約4ヶ月間、園舎が使えなかった。土石流の恐怖を伝える防災教育も進めている。「災害はいつおこるかわからない。子どもたちには3年前を思い出し、命を守る大切さを学んでほしい」と話している。

※真備町、広島市の追悼式の様子は、朝日新聞7月7日夕刊から一部抜粋しました。

3D&VR ひとぼうツアー

大阪・京都・兵庫県に新型コロナウィルス感染防止のための「まん延防止等重点措置」が継続されています。人が密集することを避けるため、夏休みに移動することも意識制限があるなか資料館などの見学も姿を変えてきているようです。阪神・淡路大震災から残された教訓を伝える「人と防災未来センター」では、ホームページから東館と西館の展示を3DビューとVR映像を無料で公開しています。

3D&VR
ひとぼうツアー《西館編》

コロナ禍により外出を控えている方や来館が困難な方向けに、西館の展示物を見学いただける3Dビュー&VR映像を無料公開しております。是非ご利用ください。

ご見学はこちら ▶▶

2017年には被災地応援実行委員、その翌年には立命館コースの高校生たちが見学に行きました。内容もリニューアルして体験型の展示もさらに充実しています。防災の知識がもり沢山の施設なので是非見てみてください。



月曜休館・毎月17日は
入館無料 7~9月は
9:30~18:00に開館
中高生は無料で見学
できます